

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	医ケア児と放デイ利用者が利用するとスペースが狭く分けにくい。 →1日の利用状況に応じて昼食や活動の時間など別室を利用する工夫をしています。 ベッド間の距離を2.5m以上離れた位置に設置している。 →感染予防も含め、ベッドの間隔やアコーディオンカーテンなど利用しながら利用スペースの配慮や部屋の換気や消毒に努めています。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1	配置はあるが支援体制の調整を要す。 →利用される方々の安全を第一に考え、職員配置を考えています。また、職員のスキルアップを目指しながら働きやすい職場環境を目指しています。 利用者数から考えると人数配置は問題ないのかもしれないが放デイの送迎するには人数が必要。→かがやき福祉会職員より運転手の補助を今後も継続し、送迎の調整をしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1	幼児～成人と幅広い年齢層が同じ部屋で過ごしている。 →家庭や学校以外での友達との交流や保護者同士の交流が見られています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3	業務改善の目標が明確になってない。 →各現場（医療ケア・児童発達支援・放課後等デイサービス・生活介護）での打ち合わせや振り返りを徹底していきます。また、細分化した職員会議を始め、各専門での研修や会議を充実させていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	分からない。 →現在は実施していません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	コロナ禍でなかなか研修が出来てない。 →施設外での研修参加は、申し込み後に中止になるケースがあったりと難しい時期でありましたが、オンラインによる研修に積極的に参加しました。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	1	個別支援計画は保育士が作成して為、今後は看護師や栄養士と共同で作成。 →個別支援計画の作成は、保護者面談や相談支援事業所からの計画等を元に児童発達支援管理責任者が責任を持って対応しています。支援に関する職員で振り返りや検討を実施しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	標準化されたアセスメントツールを使用する。 →初回面談時等に発達段階を確認するための一つの手立てとして、年齢に応じた検査を実施しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	⑩～⑬ 月案や個人の保育経過記録を作成し、こども一人一人に沿った支援をするようにしている。 発達も個人差があるので制作なども発達面や成長に合わせてするようにしている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	1	発達支援計画に沿った支援を保育や医ケア面で提供する。 →個別の支援計画に沿って必要な支援や対応等を実施しています。

援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1	デイプログラムは保育、医ケアのチームで立案する。 →支援に関する職員で検討し、保護者様への説明を行い実施しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	支援年齢による。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	振り返りは当日中に出来るようにすべき。 →支援後に振り返り時間を設定していますが、利用状況に応じて支援を優先する場合があります。各グループリーダーが中心となり振り返りの時間確保に努めています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	㉔～㉚ コロナの状況もあるが可能な限り、学校や保健師、児が通っている医療機関ともっと連携していきたい。 →コロナ感染拡大以前は、医療機関や所属園への見学を積極的に行っていました。社会状況を踏まえながら、各機関との連絡を取り合い情報の共有を図ってきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	0	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	情報共有はしている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	スーパーバイザー面談で助言や指示を受けている。医療関係の助言も受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	コロナ禍のため。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	5	コロナ禍のため。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	3	4	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	行っているが更なる整備が必要。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	更なる改善が必要。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	実施が必要。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	コロナ感染拡大のため出来ていない。 →ママトーク（保護者の方どうしのしゃべり場）も様子を見て実施していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	体制、対応が必要。 →必要に応じて関係機関と連絡を取り合い、情報共有を図っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	4	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	1	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	コロナ禍でやっていない。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	今、アレルギーのある子どもはいないが食事の面でも個人差があるので、受診している医師に園での進め方などを伝えている。面談時にアレルギー確認は行っている。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0	ベッド柵を四点使用。入浴中抑制帯を使用。